

令和2年度 学校評価アンケート 参考資料

◇本資料の概要

- 1 本校の新型コロナウイルス対策について
 - ①教育活動を実践する上での工夫 ②行事の時期や内容の見直し ③不測の事態への備え
- 2 未来につながる資質・能力の育成
 - ①情報活用能力 ②持続可能な社会の創造に貢献する力
- 3 中期学校経営方針における重点取組項目の捉え直し

1 本校の新型コロナウイルス対策について

①教育活動を実践する上での工夫

・標語「あいてますか」の徹底

あい 間を開ける

座席配置	列ごとに間隔を開け、可能な限りの距離を確保。
登下校	一斉下校の際には、放送で学年別下校を実施。
休み時間	運動場や図書館の利用時間を、1～3年と4～6年で振り分け。
グループ活動	顔を突き合わせた形での活動は、方法を工夫して実施。

て 手を洗う

手洗いタイム	日課表の中に手洗いタイムを設け、手洗いの励行。
動画の配信	休業期間および学校保健委員会で、動画による手洗いの説明。

ます マスクを付ける

毎朝のチェック	健康観察時にチェックし、声かけと確認。
衛生スタンダード	毎日の持ち物にマスクを入れ、予備の分もランドセルへ。
給食セット	衛生面を考慮し、今年度よりナフキンを使用。

か 換気をする

換気の徹底	熱中症や寒さとの兼ね合いを考慮しながら、最大限の換気を実施。 備え付けの換気扇については、授業中は終始稼働。
-------	---

・毎日の消毒の実施

→ 不特定多数が手を触れるところを中心に、次亜塩素酸による消毒を行っています。

・年間指導計画の再編成

→ 今年度の実施可能な授業時数に合わせた教育課程の編成をしました。

※詳しくは、先日の学級懇談会用に配信した全体説明動画をご覧ください。

リンク URL

<https://youtu.be/fOz9mmKzTLw>

②行事等の見直し

◇実施時期や内容の見直し

・運動会：5月23日(土) → 10月23日(金)

感染症対策のため、種目の精選を行い、午前中開催とするとともに、待機時間等の密を防ぐスペース確保のため、児童と教職員のみでの実施とした。

保護者に向けて、YouTube による限定のライブ配信を行いました。

・日光修学旅行：9月7日(月)～8日(火) → 2月23日(火)～24日(水) ※宿泊予定

2月に延期し、新型コロナウイルス感染の推移を見て判断できるようにしました。

・三浦宿泊体験：7月7日(火)～8日(水) → 9月29日(火) ※日帰り

宿泊時の密を回避するため、日帰りでの対応としました。

例年実施している2日間の活動の中から、2つをピックアップして実施しました。

・大池宿泊体験：11月5日(木)～6日(金) → 11月5日(木)と6日(金) ※日帰り

宿泊の密を避けるために日帰りとしましたが、大池公園という立地を生かし、2日連続での活動としました。

本校の強みの一つである「防災」にスポットを当て、活動内容の見直しを行いました。

※その他、遠足等を含め、校外に出る行事の際は、感染症予防のために、バスをクラス数より1台多く用意して対応しました。

◇長期休業期間の変更

・夏季休業：8月3日(月)～8月14日(金)に短縮しました。

・冬季休業：1月6日(水)を授業日として設定しました。

・学年末休業：3月26日(金)を授業日として設定しました。

③不測の事態への備え

・ G Suite for Education の運用

- 子ども1人につき1つのアカウントを割り当て、休業になった際にも一人ひとりが学校と直接つながれる体制を確保しました。
- サービスに含まれる様々なアプリを日々の授業でも活用しています。

・ YouTube による動画配信

- 休業の際に授業動画を配信できる状況を確認するとともに、子どもたちが自ら発信していくためのツールとしての活用についても計画しています。

・ ビデオ会議システムを利用したオンライン授業への準備

- 休業になった場合にも実際に活用できるように、出前授業などをオンラインで実施し、子どもたちがその感覚をつかめるよう配慮しました。
- 通常の学習の中でも、専門家の方の意見を聞く場面などでも活用しています。
- 4・5・6年生の希望者を対象に、自宅からのオンライン体験を実施します。

2 未来につながる資質・能力の育成

①情報活用能力

上記「不測の事態への備え」で挙げたツールは、学校休業などの緊急事態に対応するためだけでなく、普段の学びを深めていくためにも有効なものであると同時に、未来の社会を生き抜くためには、必要不可欠となる可能性が高いスキルです。

本校では、日々の学習の中でも活用する場面を多く設定することで、子どもたちが自ら情報を集め、自分の考えを整理してまとめ、進んで発信する力の育成を図っています。

②持続可能な社会の創造に貢献する力

本校ではこれまで、学校内外の豊かな自然を生かし、環境を守り、よりよいものとしていくために必要な考え方や態度を育む学習に取り組んできました。その資質・能力を活用することで、今回の新型コロナウイルス発生によって生じた社会の枠組みの変化に対応し、その社会を持続可能なものとするために必要な力の育成を目指しています。

また、地震等、生活を脅かす災害への対応についての学習も行っています。

※持続可能な社会の創造に貢献する力の育成を図る取組については、以下、南本宿小学校トップページより日産財団研究報告資料をご覧ください。

リンク URL

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/minamihonjuku/>

3 中期学校経営方針における重点取組項目の捉え直し

今年度当初は、学校生活そのものが失われ、6月の再開後も新しい生活様式の中で、これまでの学習活動をそのまま行うことができる状況ではなくなっていました。そこで、本校の中期学校経営方針における重点取組項目を、新型コロナウイルスへの対策に合わせた形で捉え直すこととしました。以下にその内容を示します。

生きてはたらく知

①SDGsの視点でのカリキュラムデザイン

→ これまでの自然学習に加え、災害時等でも学習を継続できるツールの活用を図ります。

②探究型の授業で主体性や表現力を育成

→ 探究型の授業には制約もありますが、新たな表現ツールの活用を中心に、様々な実践を行っています。

豊かな心

①自分づくりパスポートの運用開始

→ 学校再開後すぐに1回目を実施し、今後は大きな行事の振り返り等で活用します。

②自分づくりパスポートを教科へも取り入れ

→ 今年度は使い始めた段階なので、来年度以降の実施に向けて計画を立案します。

健やかな体

①体力アップの充実（長縄、ペース走、体育の冒頭5分間の活用）

→ 実施が難しい状況ですので、運動会の練習をきっかけに、少しずつ体力向上を目指していきます。

②歯みがきに加え、「いのちの教育」の実践

→ 歯みがきは今年度実施できていません。「いのちの教育」は子どもたちの状況に合わせ、折に触れて実施しています。

地域連携・学校運営協議会

①学校運営協議会を始めとした地域の力の活用と周知

→ 少しずつ各組織との話し合いの場が取り戻せつつあるところです。今後も様々な面で協力を仰げればと考えています。

②学校・地域コーディネーターを中心とした地域人材の発掘

→ 教育活動の場に参加いただくのが難しい状況ですので、今後の社会情勢の変化に合わせて進めていきます。

児童生徒指導

- ①職員・児童を含めたスタンダード等のきまりの共通理解
→ 新型コロナウイルスへの対応も含め、「なぜ？」ときまりの意味を考える機会を大切にしています。
- ②研修・会議等を通じた児童理解の深化
→ 新型コロナウイルスの影響は少なく、概ね計画通り実施できています。

特別支援教育

- ①研修を通じた障がい理解・基礎的環境整備・合理的配慮の情報共有
→ 新型コロナウイルスの影響は少なく、概ね計画通り実施できています。
- ②一般学級と個別支援学級や特別支援教室との連携強化
→ 学校再開直後は実施が難しいこともありましたが、今では連携強化が図れています。

安全管理

- ①地域防災拠点運営委員会や学援隊との協力
→ 今年度は感染症も見据えた形での地域防災訓練を実施しました。学援隊の皆様にも、登下校の見守りにご協力いただいています。
- ②感染症対策の徹底と災害時を含めた教育活動継続計画の策定
→ 普段の学びを深め、災害時にも対応できるツール(G Suite 等)の導入と運用を開始しました。

いじめへの対応

- ①明るい学級・学校風土づくりと人権意識の向上
→ 新型コロナウイルスによって発生している、子どもたちの生活の中の閉塞感を理解した上での学級・学校風土づくりを重視しています。
- ②子ども面談、懇談会での発信を通じた未然防止
→ ここに挙げた場面だけでなく、機会を捉えて面談や連絡を実施するようにしています。